

城端蒔絵450年 小原治五右衛門と城端のあゆみ

治五右衛門 News Letter Vol.18



城端蒔絵450年 小原治五右衛門と城端のあゆみ

会 期：2025年9月13日(土) - 10月26日(日)

会 場：南砺市立福光美術館 1F企画展示室
富山県南砺市法林寺2010

時 間：9:00 - 17:00 (入館は16:30まで)
※9月13日の入場は10:00から

休館日：火曜日休館
(ただし9月23日は開館、翌日休館)

観覧料：一般 1,000円 / 高校・大学生 210円
中学生以下無料

※常設展観覧料金が免除されます

主 催：南砺市、南砺市立福光美術館

共 催：北日本新聞社、北日本放送

後 援：(公社)日本工芸会、(公社)日本工芸会富山支部
富山新聞社、北陸中日新聞、読売新聞北陸支社
富山テレビ放送、チューリップテレビ
となみ衛星通信テレビ、テレビ金沢
MRO北陸放送、富山エフエム放送
エフエムとなみ

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）火曜日休館（ただし9月23日は開館、翌日休館）
会場：南砺市立福光美術館 1F企画展示室（9月13日(土)の入場は10:00～）
観覧料：一般1,000円、高校・大学生210円、中学生以下無料 ※常設展観覧料金が免除されます。
主催：南砺市、南砺市立福光美術館 共催：北日本新聞社、北日本放送
後援：公益社団法人日本工芸会、公益社団法人日本工芸会富山支部、富山新聞社、北陸中日新聞、読売新聞北陸支社
富山テレビ放送、チューリップテレビ、となみ衛星通信テレビ、テレビ金沢、MRO北陸放送、富山エフエム放送、エフエムとなみ



城端蒔絵は、安土桃山時代・天正三年（1575）に始まり、450年の節目を迎えました。その源流は天平の密陀絵の再現にはじまり、それに基づき白蒔絵法を編み出し、さらに各代の創意工夫を加えながら、小原家一子相伝で継承しております。

このたび城端蒔絵450年を記念し、南砺市立福光美術館にて「城端蒔絵450年 小原治五右衛門と城端のあゆみ」を開催いただく運びとなりました。展覧会の開催にあたり、多大なるご支援ご協力を賜りました関係各位に、心より御礼申し上げます。

本展では、初期の桐鳳凰密陀絵盆（東京藝術大学蔵）をはじめ、江戸時代の代表作である彩漆鯉模様手付盃盆（富山県指定文化財）、鶏に花籠蒔絵硯箱（南砺市指定文化財）など歴代の作品に加え、城端曳山祭で巡行する曳山や庵屋台の制作や修復、そして、和歌・俳諧・医学・蘭学・天文学・暦象・測量など、多方面に及ぶ研究の軌跡を紹介するとともに、十五代の日本画や十六代の作品までを一堂に展示いたします。

ご高覧賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

十六代 小原治五右衛門

城端蒔絵450年 小原治五右衛門と城端のあゆみ ◇ 関連行事 ◇

開会式・ギャラリートーク

開会式

2025年9月13日(土) 9:30 -

場 所：ロビー

ギャラリートーク [十六代 小原治五右衛門]

9月13日(土) 10:00 -

10月19日(日) 14:00 -

場 所：1F企画展示室

城端蒔絵450年 記念対談

城端蒔絵と曳山祭 - 治五右衛門がつなぐ技と心 -

2025年9月21日(日) 14:00 -

【登壇者】

林曉 氏 (重要無形文化財「髹漆」保持者)

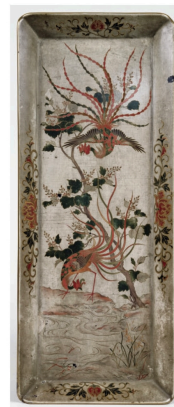
十六代 小原治五右衛門 (城端蒔絵)

場 所：ロビー

《申込不要・聴講無料》

小原治五右衛門と城端のあゆみ

南砺市旧城端町において、450年の永きにわたって、特異な光彩を放ちつづけてきた城端蒔絵。曳山祭をはじめ、城端の町史そのものと深く関わりつづき、独自の伝統を紡ぎ続けてきた城端蒔絵の歩みを振り返る。初期の密陀絵作品から、江戸時代後期の七代稀雄・八代一白・九代雄蔵が築き上げた黄金時代、そして、幕末明治以降の激動の中で、優れた美意識と高い技術を保って伝統を継承発展させてきた軌跡まで、豊富な作品・資料によって辿る。また、先代・当代治五右衛門による城端蒔絵の現在形と、未来に向けて果敢に挑戦する姿を紹介する。



南風鳳凰密陀絵盒(東京藝術大学蔵)



九代 小原治五右衛門 作 形漆惣模様手付蓋盒(富山県指定文化財)



八代 小原治五右衛門 作 茜に花菊蒔絵腰箱(南砺市指定文化財)



十六代 小原治五右衛門 作 城端蒔絵腰箱「Eclipse」



❖ 開会式	9月13日(土) 9:30- 場所:ロビー
❖ ギャラリートーク	第1回日:9月13日(土) 10:00- 十六代 小原治五右衛門による 第2回日:10月19日(日) 14:00- 十六代 小原治五右衛門による 場所はいずれも1F企画展示室
❖ 城端蒔絵450年 記念対談	「城端蒔絵と曳山祭 - 治五右衛門がつなぐ技と心 -」 9月21日(日) 14:00- 場所:ロビー (申込不要・聴講無料) 登壇者:林曉 氏(重要無形文化財「髹漆」保持者) 十六代 小原治五右衛門(城端蒔絵)
❖ ワークショップ	「じごえもん 未来プロジェクト - 蒔絵体験 -」 講師:十六代 小原治五右衛門 9月27日(土) 場所:アートルーム 午前の部 10:00-12:00(小学生・中学生対象 ※小学生は保護者同伴) 午後の部 13:30-15:30(高校生・大学生・一般対象) 定員12名(午前・午後各6名) 参加料:2,000円 内容:蒔絵の飾皿を作ります。 お申し込みは福光美術館まで Tel:0763-52-7576

ワークショップ 「じごえもん 未来プロジェクト - 蒔絵体験 -」



2025年9月28日(日)

午前の部 10:00 - 12:00 (小学生・中学生対象)

午後の部 13:30 - 15:30 (高校生・大学生・一般対象)

※小学生は保護者同伴

定 員：12名(午前・午後 各6名 | 先着順)

参加料：2,000円

内 容：蒔絵の飾皿を作ります

講 師：十六代 小原治五右衛門

助 手：小原好稀 / 西川葵星

場 所：アートルーム

お申し込みは福光美術館まで Tel: 0763-52-7576

第72回 日本伝統工芸展 2025.9.3 - 9.15



十六代 小原治五右衛門《城端蒔絵蓋物「Prominence」》

『第72回 日本伝統工芸展』の発表があり、城端蒔絵蓋物「Prominence」が入選しました。16回目の入選です。「Prominence」と題した今作は、太陽、月、地球を八角の器物の中に描き、太陽表面から漆黒の宇宙空間に放出されるプロミネンスに城端蒔絵450年の情熱を投影しました。

展覧会は9月3日(水)に東京・日本橋三越本店で開幕し、全国を巡回します。ご高覧いただければ幸甚に存じます。

十六代 小原治五右衛門

The 72nd Japan Traditional Kōgei Exhibition was announced, and my work was selected.

This is the 16th time my work has been selected.

My work entitled “Prominence” depicts the Sun, Moon, and Earth within an octagonal vessel. In it, I project the passion of 450 years of Jōhana maki-e onto the solar prominences erupting from the Sun’s surface into the vast darkness of space.

The exhibition will open on September 3 (Wed.) at Nihombashi Mitsukoshi Main Store, Tokyo, and travel around Japan. I would be most grateful if you could take the time to view it.

OHARA Jigoemon XVI

第72回 日本伝統工芸展

2025年9月3日(水) - 9月15日(月)

10:00 - 19:00 [最終日は17:00まで]

日本橋三越本店 本館7階 催物会場

[入場無料]

主催：文化庁 / 東京都教育委員会 / NHK / 朝日新聞社 / 公益社団法人日本工芸会

※巡回展はあらためてお知らせいたします。

KNBラジオ 生出演 2025.8.21

KNBラジオ「でるラジ」木曜コーナー「VISION the TOYAMA」(13:10～)にゲスト生出演しました。パーソナリティは平島亜由美さん。

番組では、城端蒔絵450年の歴史と特色をはじめ、9月13日(土)より福光美術館で開催される『城端蒔絵450年 小原治五右衛門と城端のあゆみ』や、治五右衛門プロジェクト研修生の小原好稀、西川葵星が、関連行事のワークショップなどについてご紹介しました。KNB公式YouTubeでも公開されております。

<https://www.youtube.com/watch?v=lix7ZhlbsV4>



大学コンソーシアム富山 共通授業科目「とやま地域学」 2025.8.25

今年も富山国際大学にお招きいただき、大学コンソーシアム富山 共同授業科目「とやま地域学」にて、「城端人として生きる」と題した90分講演しました。

本授業は、富山大学、富山県立大学、高岡法科大学、富山国際大学、富山高等専門学校(4年次以上)の学生が参加し、富山の自然や歴史、暮らしを学び、未来の地域づくりを考える4日間のプログラムです。城端の歴史や文化に根差した生き方、そして次世代に伝えたい地域の魅力についてお話しさせていただきました。ありがとうございました。

表千家同門会富山県支部 講演会 2025.8.31

第21回 茶の湯文化にふれる市民講座

「城端蒔絵450年 - その伝統と未来 -」

8月31日(日)、表千家同門会富山県支部様にお招きいただき、富山県教育文化会館にて90分間の講演の機会を賜りました。貴重なひとときをご一緒できましたことを嬉しく思います。ありがとうございました。

主催：一般社団法人 表千家同門会富山県支部

後援：富山県 / 富山市 / 富山市教育委員会 / 一般社団法人 富山県芸術文化協会 / 北日本新聞社

協力：一般財団法人 不審菴 / 一般社団法人 表千家同門会



Messages from Friends

小原さんには、これからの自分にとって大切なものを教えていただきました。

写真家 広川泰士さんからのご縁で、2022年に銀座emmy art+さんから小原さんの作品集デザインを、父駒形克己までご依頼いただきました。初打ち合わせはコロナ禍だったためzoomでしたが、画面越しにバリバリ伝わってくる城端蒔絵への思い。その情熱を秘めながらも、お人柄はなんともソフト。「ただの作品集にしたくないよね。きちんと取材して、小原さんの人となりも紹介したいね。」
そう父と話し、いざ城端へ。

自分自身、父親と同じデザイナーであり、比較されることの多い人生と感じていた私は、率直に伺ってみました。

「小原治五右衛門であることのプレッシャーはないのでしょうか。」

そこで小原さんは迷いなく、こう答えてくれました。

「歴代の治五右衛門がそうだったように、自分の得意なことをやっていく。制約はなく、型があるわけでもない。僕の白色をどう出すか。この家から学んだことです。」

ずっと心の中にあったモヤが、一気に晴れる感覚でした。

そうか、自分は自分で良いのだと。今も悩む癖は抜けませんが、その度にこの言葉がわたしを救ってくれます。

水月公園に建てられた顕彰碑の前で、「ここを思わない日はないように、先人のことを考えない日はない。」と静かに手をあわせる小原さん。今自分がいるのは、これまでバトンをつなげてくれたご先祖のおかげであり、それは目にはもう見えない存在だけれど、見えない存在に感謝してこそ、目の前のものを大切にできるのではないか。

歴代治五右衛門の教えは、今の時代にこそ、必要な気がしています。後に完成したこの作品集は、昨年急逝した父との思い出の合作となりました。

大切なものをたくさん、ありがとう小原さん。

駒形 あい



デザイナー・ONE STROKE代表

駒形 あい / KOMAGATA Ai

株式会社オンワード樫山にてファッションデザイナーとして勤務後、ONE STROKEにてグラフィックデザイン、本の制作に携わる。
東京都庭園美術館からの依頼で、視覚に障がいのある人にも美術館の特徴的な建物意匠を伝えるための、触察絵本をデザイン・制作。
イタリア、スペイン、韓国でゲストスピーカーとして、トーク、ワークショップ、ポートフォリオレビューの講師を務める。

桑沢デザイン研究所 基礎デザイン 講師
一関市立図書館にて絵本作家育成講座 講師
2022年、2024年 桑沢デザイン研究所 文化祭
ファッションショー審査員

<https://www.one-stroke.co.jp/>





OHARA Jigoemon XVI

- Johana Makie -

令和7年(2025)

【活動報告】

- 8月1日(金) 城端曳山等保存修理事業 調査
- 8月5日(火) 理事会
- 8月7日(木) 北日本新聞 取材
- 8月8日(金) 城端蒔絵450年記念展 ミーティング
- 8月12日(火) 水月公園 調査
- 8月14日(木) お盆の法要
- 8月16日(土) 第72回 日本伝統工芸展 入賞・入選発表
- 8月18日(月) 城端曳山等保存修理事業 調査
- 8月21日(木) KNBラジオ「VISION the TOYAMA」出演
- 8月23日(土) 日本工芸会富山支部 幹事会
- 8月25日(土) 富山国際大学 講演
- 8月25日(土) 城端蒔絵450年記念展 挨拶まわり
- 8月31日(日) 表千家同門会富山県支部 講演

令和6年度能登半島地震・大雨被害で被災された
皆様に心よりお見舞い申し上げます。
被災地ではまだ不安な日々をお過ごしのことと拝察いたします。
1日も早い安心の暮らしの蘇りに結ばれますよう祈念いたします。

〒939-1865 富山県南砺市城端4316-1

Tel / Fax: 0763-62-1156

E-mail: info@jigoemon.com



<https://www.jigoemon.com>